

2022年度
なごや環境大学
活動報告書

2022.4 ~ 2023.3





目次

はじめに.....	P1
学長挨拶.....	P2
なごや環境大学って何？.....	P3
開学以降の講座等実績の推移と 2023 年度への展望	P5
2022 年度の振り返りと次年度への展望～アンケート結果から～.....	P7
共育講座・共育ゼミナール.....	P10
2022 年度実行委員会主催事業・連携講座の一覧.....	P11
2022 年度共育講座一覧（前期）.....	P13
2022 年度共育講座一覧（後期）.....	P15
持続可能な社会づくり～SDGs の達成を目指して～	P17
2022 年度事業報告.....	P21
なごや環境大学の歩み.....	P23
なごや環境大学運営協力者一覧.....	P27
2022 年度「なごや環境大学」実行委員会.....	P28

なごや環境大学は、パートナーシップを軸に SDGs の達成を目指します。



SDGs とは「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略称です。



はじめに



なごや環境大学は、分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民が「共に育つ（共育）」ことを目的とし、2005年に開学しました。現在では、持続可能な社会の担い手づくりの先進的事例として、広くその名を知られるようになりました。なごや環境大学の取り組みが全国的に評価されていることをうれしく思います。

これもひとえに、これまでご尽力いただいた関係者の皆様や市民の皆様のおかげであり、心より感謝します。

なごや環境大学では、2022年12月に新たに学長にご就任いただいた、一般社団法人中部経済連合会会長でもある水野明久学長のもとで、様々な事業を検討・展開しています。

2022年度は、昨今の持続可能な社会を目指す機運の高まりも踏まえ、時流に沿った環境テーマを取り上げた講座を企画してまいりました。全面改訂を行った「なごや環境ハンドブック」を用いて地球規模から身近な環境問題までを自分ごととして考える講座「地球環境学」「なごやをささえる環境学」を開催したほか、企業の先進的な取り組みを紹介するSDGsオンラインセミナーでは、多くの企業の方に参加いただくなど、様々な方に向け、環境情報を発信し、理解を深めていただくことができました。

名古屋市では、「なごや環境学習プラン」に基づき、持続可能な社会の実現に向けた人づくり・人の輪づくりを環境面から推進していくための取り組みを進めています。このプランの中では、「分野や主体、世代を超えた学び合い」が重要なキーワードとして挙げられています。

分野や主体、世代をつなぎ、行動する市民、協働する市民として「共に育つ（共育）」ことを目的とするなごや環境大学の果たすべき役割は益々高まっています。持続可能な社会の担い手づくりのためにも、引き続き様々な取り組みを進めてまいります。

今後とも、なごや環境大学を支えていただいている実行委員会をはじめとする皆様のご支援とご協力をお願いします。

「なごや環境大学」実行委員会 名誉委員長
名古屋市長 河村 たかし



学長メッセージ

なごや環境大学学長の水野明久です。



昨年（2022年）12月に、前任の涌井学長より学長の職を引き継ぎ、なごや環境大学の新しい学長として就任いたしました。よろしくお願いいたします。

私は、2015年と2016年に環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）の会長を務めており、その際になごや環境大学と連携して講座を開催していました。EPOCは、中部地域の産業界が中心となって、業種や業態を超えた環境負荷低減活動を2000年から行っており、その中で企業が持っている教育ツールや施設を活用し、次世代のための環境教育講座を活動の一環として現在でも実施しています。

環境問題において、地球規模での気候変動、特に脱炭素の話が大きくクローズアップされています。また、生物多様性の損失の問題、海洋プラスチックをはじめとする海洋汚染等の難しい問題が世界各地で起こっており、人々の生活や経済に大きな変化を与えています。環境問題は地球が直面する深刻な課題で、個人、行政、市民団体だけでなく、企業との連携が今や必要不可欠となっています。昨今、企業においてもSDGsの達成に向けて様々な取組みが行われています。なごや環境大学と企業とが更に連携を深めることで、活動の幅を一層広げられるのではないかと考えています。

社会の変化に対応しながら、地域の課題に取り組むことも、なごや環境大学の大きな使命となっています。私たちは市民・市民団体、行政、アカデミア、企業と連携して地域課題に取り組むことで、地域社会に貢献することを目指しています。また、環境問題に取り組む教育研究を進めて、持続可能な社会の実現に向けた人づくりや人のつながりを大切にすることが、なごや環境大学の活動の柱です。草の根活動による力がますます求められていくと考えています。

今後とも皆様方のご支援・ご協力をいただきながら、なごや環境大学の活動を充実させてまいりたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「なごや環境大学」学長
水野 明久

なごや環境大学って何？

市民 / 市民団体 (NPO/NGO) ・企業・教育機関・行政が立場や分野をこえて協働で運営し、知識や経験、問題意識を持ち寄って学び合うネットワークです。

子どもから大人まで、どなたでも参加できます。

目的

「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える「人づくり・人の輪づくり」を進め、行動する市民、協働する市民として「共に育つ(共育)」ことを目的としています。

入学資格

〈エコ・ゴコロ〉だけです。

環境に関心のある、すべての人を歓迎します。子どもから大人まで、「環境問題はむずかしそうだ」という人も、「活動の輪を広げたい」という人も参加できます。

内容

協働による講座・ゼミナールなどの運営

学ぶ！ 講座に参加する

楽しみながら学べる講座を多数ご用意しています。



動かす！ ゼミナールで活動する

「なごやをもっとエコに！」と、さまざまな団体が活躍中！
仲間と一緒に、新しいことにチャレンジしてみませんか？



発信する！ 企画・運営する

あなたも、何か企画してみませんか？ 毎年6月と11月に 講座・ゼミナール (ゼミナールは11月のみ) の募集を行っています。
初心者の方も、歓迎です。

※これまでの募集要項は常時ウェブサイトでご覧いただけます。

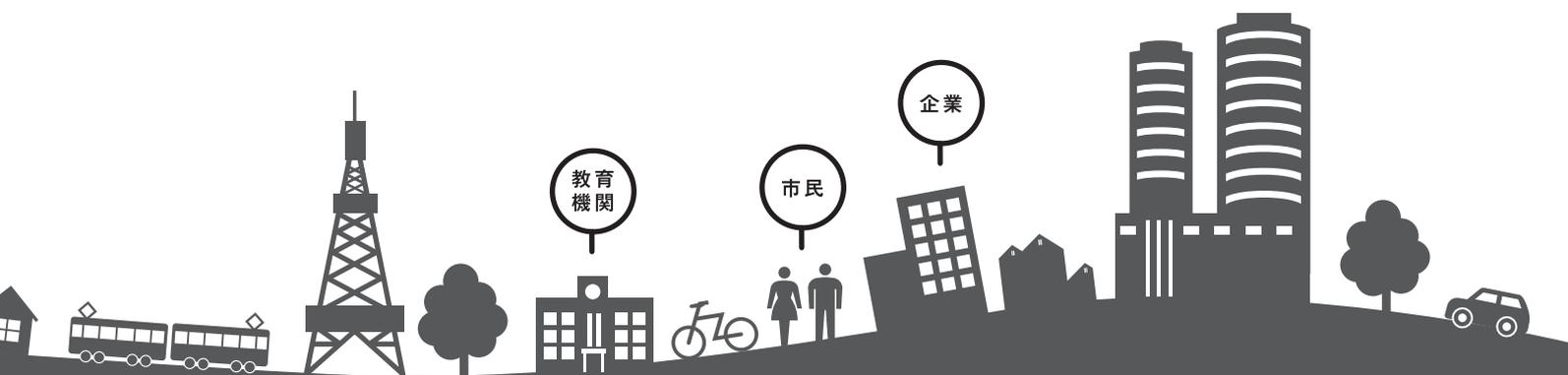


つながるエコ ひろがるハッピー！

まちじゅうがキャンパス

里山や水辺…教室や工場も…どこでも実施！

詳しくはHPをチェック！ <https://www.n-kd.jp/>



ネットワークづくり

ひとつひとつ、団体と企業、行政や教育機関などそれぞれの得意分野や持ち味を活かし、大きな成功へと導く関係づくりを行います。

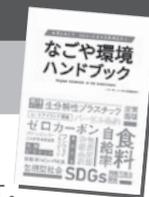
また、市民参画のプロジェクトによって、ひとつひとつをつなぎ、ムーブメントをつくりだします。異なる分野のひとの出会いの場を提供し、ひとの輪を広げます。

情報発信

多種多様な講座を紹介したガイドブックを年2回発行しています。

また、地球環境から身近な環境まで分かりやすくまとめた「なごや環境ハンドブック」を発行しています。

たくさんのひとが利用するソーシャルメディアやホームページ、大勢のひとが集うイベントなどを通じて誰もが参加、参画できる情報を発信しています。



サポート／コーディネート

ネットワークを活かし、企業や行政、教育機関などのESD^{*1}活動（学習プログラム・研修プログラム・CSR^{*2}プログラム）の支援、関連団体などとの橋渡しを行います。

※1 ESD=Education for Sustainable Development の略 持続可能な社会を支える担い手づくり

※2 CSR=Corporate Social Responsibility の略 企業が社会に対して責任を果たし、社会とともに発展していくための活動

なごや環境大学 開学以降の講座等実績の推移と 2023年度への展望

■講座等実績の推移

1. 講座数の推移

「なごや環境大学」実行委員会および各企画団体が実施した2022年度の講座数は139講座でした。新型コロナウイルスの感染対策をとったうえでの企画でしたが、中止・延期に至った講座もありました。



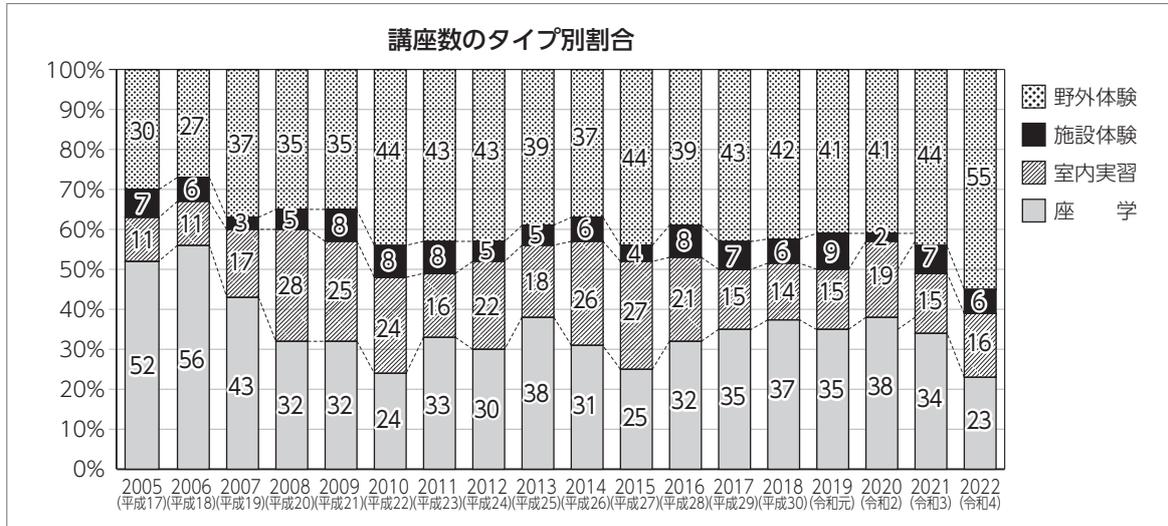
2. 受講者数等の推移

2022年度の受講者数は15,162人、企画団体別の内訳では、実行委員会が半数以上となっています。

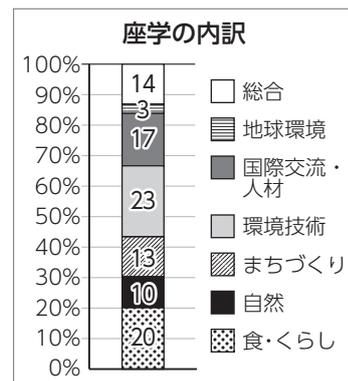
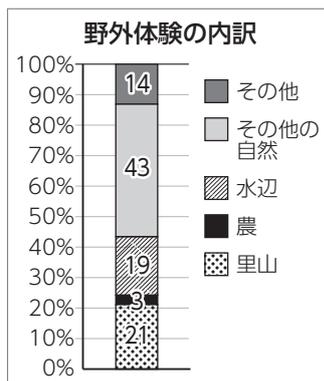


3. 講座タイプ別割合の推移

開学当初は座学が5割以上を占めていましたが、現在では座学が2割台となっています。また、野外体験、施設体験、屋内実習などの「体験・実習型講座」が7割台と講座のタイプが多様化しています。



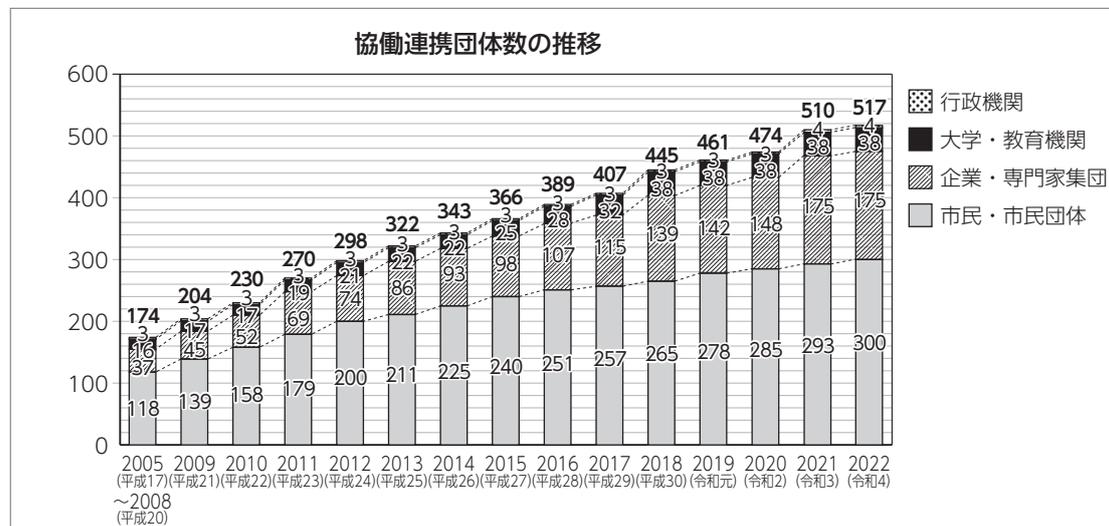
2022年度の講座タイプ別割合は、野外体験55%と座学23%で8割ほどを占めています。野外体験の内訳は、里山や農、水辺、その他の自然など、多岐にわたります。座学の内訳も、食・くらし、自然、まちづくり、環境技術、国際交流・人材、地球環境と広範囲です。



4. なごや環境大学を支える仲間たちの推移（累計）

なごや環境大学を支える講座企画団体や協働連携団体の累計は、2022年度で517団体となり、開学当時のおよそ3倍になりました。

なごや環境大学は多くの仲間たちによって支えられています。





■なごや環境大学 2022 年度の振り返りと次年度への展望

～なごや環境大学受講者および
講座主催団体へのアンケート結果から～

事務局次長 市橋 和宜

2022 年度に実施した各種講座および小学生向け講座の受講者、講座企画者を対象としたアンケート結果から、なごや環境大学の活動の振り返りを行いました。

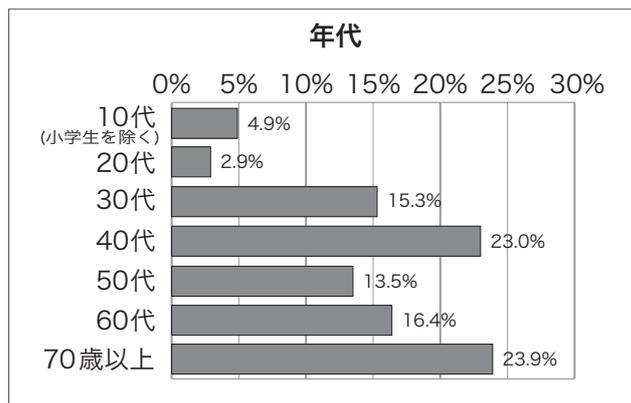
1. 各種講座受講者に関する集計結果

2022 年度に実施した講座の受講者の中から、小学生を除いて延べ 2,731 名のアンケート回答をいただきました。なお、それぞれの設問は、有効回答のみを集計しています。

●年齢

受講者の年代は「70 代以上」が 23.9% と最も高く、次いで「40 代」が 23.0%、「60 代」が 16.4%、「30 代」が 15.3% でした。「小学生を除く 10 代」4.9%、「20 代」2.9% と若い世代の比率が低くなっています。

今後は、未来を担う 10 代、20 代を中心とした若い世代の興味・関心を探りつつ、環境課題に参画できるような事業を検討していく必要があります。



●在住・在勤地

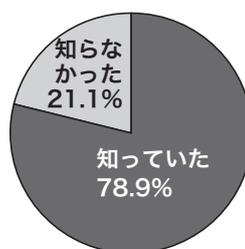
受講者の在住・在勤地は名古屋市内 64.5%、愛知県内を含めると 90.4% でした。

●認知度と受講経験

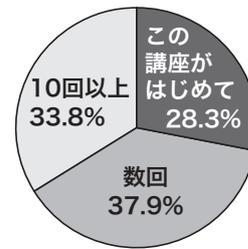
なごや環境大学の認知度について、受講者の 21.1% が「知らなかった」と回答されており、この比率は 2021 年度と比較して 3.2 ポイントの減少です。また、新規受講者である「初めて受講した」方は 28.3% と、引き続き 3 割近くとなり、新規層への広がりが感じられます。

今後は、講座の開催形態が、従来の対面に加えオンラインによる開催など多様な形態が展開されていきます。これを踏まえ、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、また同時にリピーターにも継続して参加したくなるような講座の開設などに取り組む必要があると考えられます。

なごや環境大学の認知度



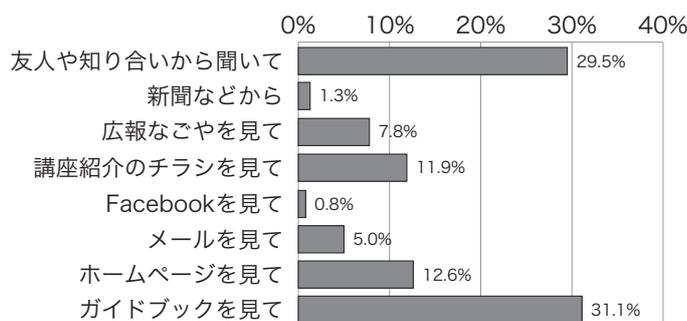
講座への参加回数



●情報入手方法

講座情報の入手については、「なごや環境大学のガイドブックを見て」知った割合が 31.1%、「友人や知り合いから聞いて」という口コミが 29.5%、合わせて全体の 6 割を超えています。ガイドブックについては 2021 年度の 24.4% から 6.7 ポイント増加していますが、「ホームページ」が 14.4% から 12.6%、「メール」が 5.3% から 5.0%、「Facebook」が 2.7% から 0.8% とそれぞれ減少しています。これは、従前からの情報量の豊富なガイドブックや知人からの口コミが、依然として講座に参加を促す強力なツールとなっていることを改めて認識させられます。一方、若い世代や新規受講者を増やすためには、ウェブコンテンツについて内容構成をより分かりやすく改善し、今後はスマートフォンやタブレット端末などマルチメディア機器から手軽に入手できる情報の充実などに取り組んでいく必要があります。

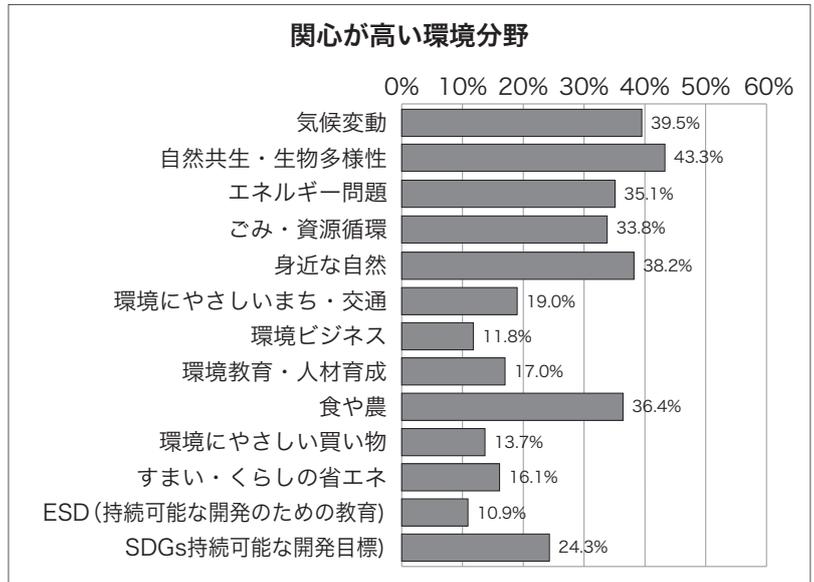
情報入手方法



●関心が高い分野

関心が高い分野としては、「自然共生・生物多様性」が4割を超え、続いて「気候変動」、「身近な自然」、「食や農」、「エネルギー問題」、「ごみ・資源循環」がいずれも3割以上を占めました。

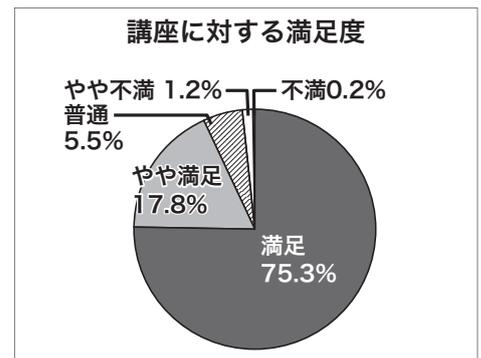
「自然共生・生物多様性」「身近な自然」「食や農」は従来から常に関心が高い傾向にありますが、「エネルギー問題」は2019年度以降関心が高まっている傾向がみられ、時流をとらえながら、受講者のニーズに応えられるような取組みを増やしていきます。



●講座に対する満足度

講座に対する満足度は「満足」、「やや満足」を合わせて9割を超える高い評価をいただきました。

2022年度は、オンラインによる開催なども定着し、講座企画団体の皆様の努力や工夫が反映された結果になったものと思われます。

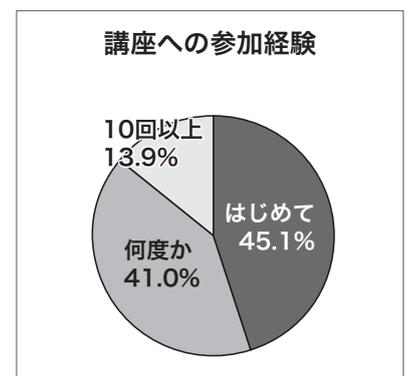


2. 小学生向け講座に関する集計結果

小学生の受講者 458 人に対するアンケートによると、受講者の 98.7% が名古屋市内・愛知県内でした。初めて講座に参加した子どもが 45.1% と 2021 年度より 1.2 ポイント増加、同時に「何度か」、「10 回以上」参加している子どもは合わせて 54.9% と、半数以上がリピート参加していることが分かります。

講座の内容については、「楽しかった」と感じた子どもが全体の 95.7% と非常に高いことが特徴的です。また、「また参加したいかな?」についても、○(したい) が 94.1%、「わかりやすさ」についての評価も 1.2 ポイント上昇しており、全体として子どもの参加者が講座に非常に満足して、また参加したいと思っています。

内容について	○	△	×
楽しかったかな?	95.7%	4.3%	0.0%
わかりやすかったかな?	89.7%	8.9%	1.5%
また参加したいかな?	94.1%	5.7%	0.2%



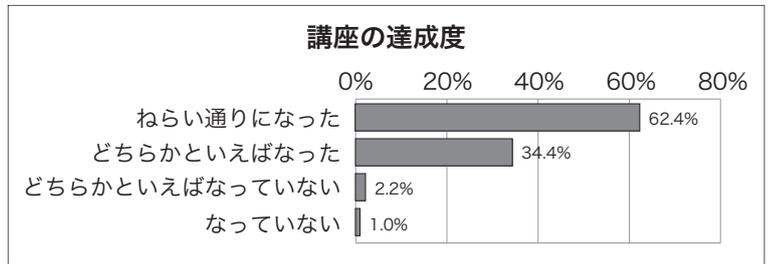
3. 講座主催団体に対するアンケートの集計結果

なごや環境大学の共育講座を企画運営していただいている市民団体や企業、行政などの講座企画者からもアンケート回答をいただいています。

● 講座の達成度

講座の達成度については、企画団体の「ねらい通りになった」、「どちらかといえばなった」を合わせて96.8%と、ほとんどの団体が主催者として講座全体に満足していただきました。

講座の企画内容や運営に制限があった中、このような結果が得られたことは、企画者の皆様の努力と参加者の意識の高さが現れているものと思われま



● 講座の運営

講座の運営に関して、表に示した9項目について、それぞれ4段階で自己評価していただきました。「スタッフの人数」、「講座の時間配分」、「内容」、「手法」、「会場」、「準備」の項目で「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせて9割を超えていますが、「広報」、「参加者の人数」、「収入と収支のバランス」では「十分」「ほぼ十分」との回答を合わせて7割程度にとどまっています。

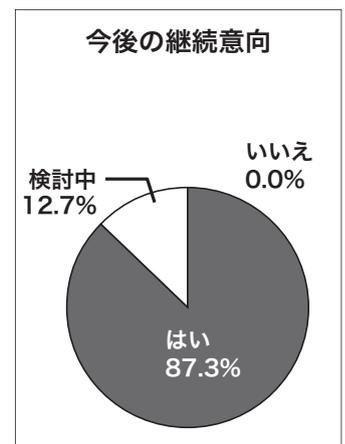
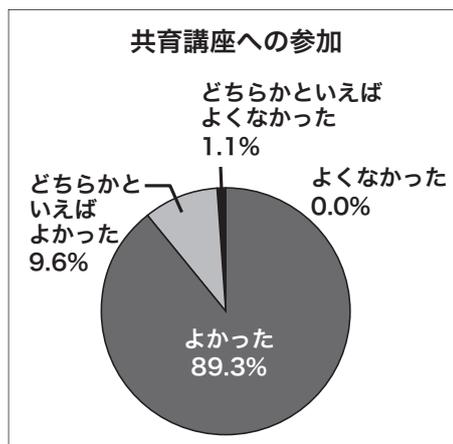
やや満足度の低いこの3項目は、コロナ禍によるものと思われ、参加控えや、感染の拡大により講座の開催そのものが困難になるなど、参加者の確保に苦慮する傾向がうかがえます。今後、よりいっそう広報に力を入れるとともに、多くの人

が参加できる方策を検討するなど、講座企画者が運営しやすくなるよう、事務局のサポートを続けていきます。

	十分	ほぼ十分だった	少し足りなかった	足りなかった
①スタッフの人数	58.1%	33.3%	6.5%	2.2%
②講座の時間配分	64.6%	31.3%	4.2%	0.0%
③内容	73.1%	23.7%	3.2%	0.0%
④手法	65.2%	31.5%	3.3%	0.0%
⑤会場	79.6%	14.0%	5.4%	1.1%
⑥準備	63.4%	33.3%	2.2%	1.1%
⑦広報	43.5%	33.7%	20.7%	2.2%
⑧参加者の人数	36.9%	36.9%	26.2%	0.0%
⑨収入と収支のバランス	33.3%	39.1%	20.7%	6.9%

● 講座の改善・今後の展望

共育講座という参画の仕方については、ほぼ100%の団体が「よかった」「どちらかといえばよかった」と回答しており、この仕組みが重要な意義を持っていることが分かります。また、今後の継続意向についても、87.3%の団体が継続したいと回答していました。



● まとめ

以上、2022年度の各種アンケート結果の集計から、なごや環境大学が、NPO・市民活動団体、企業、行政、教育機関などと協働して役割分担している共育講座の仕組みは、講座主催団体・受講者のいずれからも概ね高い評価を得ていることが分かります。しかし同時に、若者を中心とした新規受講者にとって参加しやすく、またリピーターにも継続して参加したくなるような講座の開設に取り組む必要があります。また、「自然共生・生物多様性」、「気候変動」など受講者の興味や関心の高い講座の充実を図るとともに、講座企画者が運営しやすくなるよう事務局としてのサポートを続け、なごや環境大学の企画運営を進展させていきたいと考えています。

● 共育講座



名古屋市内および近隣地域をキャンパスとして、『共に学び合い』『育ち合う』環境講座を「共育講座」と表現し、展開しています。講座の企画・運営は、趣旨に賛同した市民 / 市民団体や企業、教育機関、そして行政などが行い、企画を持ち寄り、協働で運営しています。

2022年度は、112の講座を開催しました。(主催事業を除く)

各講座の詳細や団体情報については、「なごや環境大学エコパートナーズ」に掲載しています。

屋外(里山や水辺)も屋内(教室や工場)も「まちじゅうがキャンパス」です。座学、フィールドワーク、討論、ワークショップ、調査・研究など様々な講座を実施しました。

※ 2022年度も新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、延期・中止となる回も発生しました。

● 共育ゼミナール



『共育ゼミナール』は、開校以来進めてきた受講生を招く『共育講座』の発展の形として、2012年度から開始しています。「行動しやすくなるしくみづくり」の一つとして、調査・研究、社会実験、提言とりまとめなどを行っています。2022年度は、4団体が年間を通じて活動しました。

団体名	なごや外来種を考える会
事業名	外来種を食べて減らす会
活動の目的・概要	ザリガニなどの外来種を調査して食べる会は好評で、市民の関心も大きいです。身近な侵略的外来生物の存在を知って命を大切にいただくことを体験してもらいます。
団体名	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)
事業名	日本庭園と生物多様性
活動の目的・概要	都市にとって、「健康な植生活」って何? 身近な自然と、どうつきあえばイイの? …そんなギモンやモヤモヤを、スッキリさせたい!
団体名	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画
事業名	堀川最上流の自然環境を調べる!
活動の目的・概要	堀川最上流部の水辺環境とそこに生息する動植物の状況把握を目的とします。水質調査のほか、魚類や爬虫類、貝類、水生昆虫などの水生動物、水草などを対象とした調査を実施します。
団体名	東谷山ニホンミツバチプロジェクト実行委員会
事業名	東谷山の森の中でのニホンミツバチの繁殖条件の調査
活動の目的・概要	ニホンミツバチの自然繁殖条件の調査と自然繁殖による生物多様性の維持保全活動を行っています。観察や調査を通じて、身の回りにいる動植物の知識を深めることができます。



2022 年度

実行委員会主催事業の一覧

○野外体験 / □施設体験 / △屋内実習 / ●座学・鑑賞

■主催事業 ※オンラインでの参加含む

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	渋沢栄一の夢とSDGs	1回	114	共催：マザーアース プラネット
○●	なごやの水はどこから来るの？ —木曾川水系をたどる—	4回	106	
●	地球環境学 2022	5回	206	
○	森を育む人づくり講座 in みたけ	11回	76	協力：NPO 法人 みたけ・500万人の木曾川水 トラスト、名古屋国際中学・高等学校
●	SDGs オンラインセミナー 「消費者とともに歩く企業」 ※	5回	216	
○△	愛岐の里山たいけん隊（春） 愛岐の里山たいけん隊（秋）	2回	25	協力：岐阜県多治見市諏訪町のみなさま、 共催：名古屋市愛岐処分場
○△	片平学区ローカルSDGsプロジェクト （環境学習会同時開催イベント含む）	4回	1440	共催：片平学区連絡協議会
●	SDGs 達成のための授業づくり講座	1回	24	
△	企画者説明会・交流会	4回	106	
●	環境白書からSDGs実践へ2022 ※	1回	25	共催：環境省中部地方環境事務所、EPO 中部
●	SDGs 普及啓発教育プログラム 第1期「産官民提携講座II」（SDGs 概論）	15回	315	共催：愛知学院大学、中部大学
●	環境と法	15回	1050	共催：愛知学院大学
●	ビジネスプランニング入門	3回	150	共催：愛知淑徳大学



森イキ！プロジェクト
森を育む人づくり講座 in みたけ



SDGs オンラインセミナー
「消費者とともに歩く企業」 ※



愛岐の里山たいけん隊（春）



片平学区ローカルSDGsプロジェクト
（環境学習会）



みちにわマルシェ



自治体ミーティング 2022

講座種別	事業名	回数	延人数	協働先
●	なごやをささえる環境学	5回	153	
○△	環境情報メディア部	4回	23	
●	錦2丁目SDGsWEEKs 七番SDGsセミナー	5回	65	共催：錦二丁目エリアマネジメント（株）
●	第17回持続可能な明日をめざすシンポジウム ～いのちつながる街づくり担い手づくり～	1回	54	
○△●	森イキスキルアップ講座	2回	34	共催：なごや森づくりパートナーシップ連絡会、戸田川みどりの夢くらぶ
○●	なごや水辺・湿地サポーター養成講座 ―基礎編―	4回	92	共催：NPO 法人なごや東山の森づくりの会、（公財）名古屋市みどりの協会
●	SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2022	1回	36	

■イベント出展、その他

講座種別	事業名	日	延人数	備考
△	なごやSDGs フィールドスタンプラリー	2022/8/1~31	2345	協力：なごやSDGs フィールド
○	環境デーなごや	2022/9/17	120	主催：環境デーなごや実行委員会
○	トヨタソーシャルフェス	2022/9/25	1220	主催：藤前干潟クリーン大作戦実行委員会、中日新聞、なごや環境大学実行委員会事務局
○	みちにわマルシェ 2022	2022/10/22	176	主催：錦二丁目エリアマネジメント株式会社、N2/LAB
△	愛知淑徳大学CCCコラボメッセ	2022/12/17	10	主催：愛知淑徳大学
△	名古屋市消費生活フェア	2023/1/27	30	主催：名古屋市

2022 年度連携講座一覧

連携講座は、なごや環境大学の趣旨にご賛同いただいた企業・団体等が実施する講座・イベントです。

2022年度は7講座が開催されました。

	開催日	講座名	実施者
1	2022年4月10日(日) ～10月29日(土)	なごや自然教室	名古屋自然観察会
2	2022年5月13日(金) ～11月26日(土)	天白・もりのフォーラム事業 「天白・自然とふれあい隊！」	天白・もりのフォーラム(天白区役所地域力推進室)
3	2022年5月21日(土)	ふるさと親子自然観察会	名古屋自然観察会
4	2022年7月1日(金) ～9月9日(金)	第17回 環境絵画コンクール	パナソニック エコシステムズ株式会社
5	2022年7月16日(土)	なごや外来種を考える会 (食べて減らそう外来種)	なごや外来種を考える会
6	2022年11月13日(日) ～12月11日(日)	亀の子隊エコプログラム体験 渥美を学び、渥美を食べよう!	環境ボランティアサークル 亀の子隊
7	2023年1月28日(土)	海洋プラスチックがもたらす危機 ～その原因と影響を探る～	千種生涯学習センター

(実施順)

共育講座・
ゼミナール一覧
2022年度(前期)

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		16	Z-01	外来種を食べて減らす会	なごや外来種を考える会	○		○	○	○
		17	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや(都市の自然のモノサシ研究会)				○	○
		17	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる!	川ナビ歩こう会・株式会社地域環境計画名古屋支社	○			○	○
		18	Z-04	東谷山の森の中での二ホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山二ホンミツバチプロジェクト実行委員会				○	○

SDGs×水	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		19	A-01	なごやの水はどこから来るの? -木曾川水系をたどる-	「なごや環境大学」実行委員会	○	○	○	○	○
		20	B-01	渥美の磯で珍しい生き物を探そう!	NPO 法人 環境ボランティアサークル亀の子隊	○	○	○	○	○
		20	B-02	青空遊園 川に親しみ水を学ぶ!	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
		21	C-01	夏休みの自由研究!! ~蟹江町で自然観察しよう♪~	株式会社 加藤建設	○				
		21	E-01	めざせ!! 水の環境活~学んでみよう、水のこと~	名古屋市環境局地域環境対策課 水質地盤係	○	○	○	○	○
	22	E-02	水の歴史資料館で学ぶ 名古屋の下水道と大雨・防災	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館			○	○	○	

① 脱炭素 (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		23	B-03	ごきそテクノカフェ ~SDGsについて技術者と共に考えましょう~	名古屋工業大学ごきそ技術士会	○		○	○	○
		24	B-04	環境カウンセラーと行く『建物と環境』	環境カウンセラー岡本明子				○	○
		24	C-02	環境エネルギー塾	中部電力株式会社				○	
		25	C-03	高速道路橋の長寿命化に向けての取り組みを学ぼう!	中日本高速道路株式会社 名古屋支社	○	○	○	○	○
		25	C-04	第31回環境フォーラム グリーンリカバリー ~コロナ危機から考える 未来のカたち~	株式会社エステム	○	○	○	○	○
		26	C-05	夏休み特別企画 東邦ガス親子環境講座	東邦ガス株式会社	○	○			
	26	E-03	下水からエネルギー!? ~暮らしを支える水循環システムの構築~	中村生涯学習センター				○	○	

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		27	A-04	愛岐の里山たいけん隊~春の里山にいこう!~	「なごや環境大学」実行委員会、名古屋市愛岐処分場、名古屋市環境学習センター		○	○		
		28	A-05	森を育む人づくり講座 in みたけ	「なごや環境大学」実行委員会	○		○	○	○
		29	B-05	こども講座「森であそぼ!」	NPO 法人 海上の森の会	○	○			
		29	B-06	劇団シンデレラと藤前干潟を学ぼう・感じよう!	劇団シンデレラ	○	○	○	○	○
		30	B-07	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					○
		30	B-08	シリーズ2 動けない樹木たちのもつ “驚きのしくみと生き残り戦略とは!?”	あいち森林インストラクター会	○		○	○	○
		31	B-09	戸田川緑地の昆虫を調べよう	ピオトープ・ネットワーク中部	○				
		31	B-10	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
		32	B-11	♪親子で楽しむ ネイチャーゲーム♪	なごやネイチャーゲームの会	○	○	○	○	○
		33	B-12	昆虫食について知り、実際に食べてみよう!	愛知県昆虫食を考える会	○	○	○	○	○
		33	B-13	もりもり自然探検・大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
		34	B-14	むささびっ子の森くらぶ	NPO チームばんどり	○				
		35	B-15	りす山の自然学校:あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○	○	○
		35	B-16	夜の東山の森で虫たちを灯火採集!	なごやの生き物調査の会	○	○	○	○	○
		36	B-17	山崎川の自然を知ろう!	山崎川グリーンマップ	○	○	○	○	○
		36	B-18	干潟の学校 ~藤前干潟を体感しよう~	NPO法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
		37	B-19	美味しい!楽しい!美しい!地球に優しい自然と共生する日本の暮らし	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
		38	B-20	都市近郊田で、無農薬のコメ作り、生きもの豊かな田んぼ作り	NPO法人日進野菜塾	○	○	○	○	○

市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。子どもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。 **講座番号 B**

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。 **講座番号 C**

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。 **講座番号 D**

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に合った内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。 **講座番号 E**

	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)		39	B-21	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
		39	B-22	ネイチャーランニング森のなか、まちの中	りとららぼ	○	○	○	○	○
		40	B-23	レイチェル・カーソンの思いを未来につなぐ	レイチェル・カーソン 日本協会東海フォーラム			○	○	○
		40	B-24	りず山遊び「季節を感じる自然体験をしよう！」	特定非営利活動法人えこども	○	○	○	○	○
		41	B-25	みてきて かんじて！自然とあそぼうの会（2022 年上半年期）	NPO みのむしックス	○				
		41	C-06	なごや近郊の森 de セルフケア	prana	○			○	○
		42	C-07	田んぼ体験しよう！～昔ながらの農具を使って～	戸田川緑地管理センター	○	○	○	○	○
		43	C-08	なごやの建設屋さんエコアクションを体感しよう！	一般社団法人 名古屋建設業協会	○	○	○	○	○
		43	C-09	きみもプラネタリアン！ ～やってみよう、こどもプラネタリアム解説～	アクティオ株式会社 名古屋営業所	○	○	○		
		44	C-10	山県市北部でまったり 2022 ～春・夏～	やまがたフットバス実行委員会	○	○	○	○	○
		44	E-04	身近な森に目を向けて～熱田で感じる自然の大切さ～	熱田生涯学習センター			○	○	○
		45	E-05	【大高緑地管理事務所共催】 在来種の生態系を守ろう！	緑生涯学習センター	○				
		46	E-06	名古屋の公園で自然散策～歩いて自然に親しもう！～	北生涯学習センター					○
	46	E-07	【徳川園共催】 昆虫王国～命きらめく都会のオアシス～	東生涯学習センター	○	○				
③ 資源循環 (3R・ごみ問題・産業廃棄物)		48	B-26	勿体ないを家庭から～編む / 織る / 染める / ～手あみの基礎学へます(～)～	手あみ生涯学習くろーぶ					○
		49	C-11	びん、缶、ペットボトルのリサイクル	愛知県再生資源団体連合会	○	○	○	○	○
		49	C-12	紙のリサイクル	愛知県古紙協同組合	○	○	○	○	○
		50	E-08	そのごみは資源に変わる～リサイクルの歴史と現状～	昭和生涯学習センター					○
④ 健康安全 (食・暮らし・防災・安全)		51	B-27	放射線・放射能のことを知り、測ってみる	未来につなげる・東海ネット 市民放射能測定センター（略称:Cラボ）	○		○	○	○
		51	C-13	受講生と共につくり、学びあう体験講座 ～18年連続開催中～	株式会社山田組	○	○	○	○	○
		52	E-09	取り組んでみよう！エシカル消費～わたしとSDGs～	中生涯学習センター			○	○	○
⑤ まちづくり (まちづくり・交通・水)		53	D-01	街づくりから学ぶSDGs入門	国立大学法人愛知教育大学	○	○	○	○	○
		54	E-10	水の環(わ)でつむぐ、なごや	南生涯学習センター	○	○	○	○	○
⑥ 多文化共生・国際協力		55	B-28	楽しく学ぶフェアトレード（通常開催 / オンライン開催）	愛知から フェアトレードの輪をつなげる会	○	○	○	○	○
		55	B-29	「食×国際交流」！世界の料理で環境を学ぼう♪	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○	○
		56	B-30	私達を取り巻く様々な環境にフォーカス 身近なところから実践しよう	eye opener	○	○	○	○	○
⑦ スキルアップ (人材育成・人づくり)		58	A-02	地球環境学 2022	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	○
		59	A-03	SDGs オンラインセミナー「消費者とともに歩く企業」	「なごや環境大学」実行委員会					○
		60	B-31	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会中部本部・中部倫理委員会	○	○	○	○	○
		60	B-32	あなたも地球エコ防衛隊になろう！	地球エコ防衛隊	○			○	○

なごや環境大学のHP
エコパートナーズデータベースにて各企画・運営団体の活動内容がご覧いただけます。

共育講座・
ゼミナール一覧
2022年度(後期)

共育ゼミナール

市民・市民団体等がテーマを掲げて年間を通して調査・研究、社会実験などを行います。活動成果を持ち寄って、「持続可能ななごや」実現のためにさまざまな提案等を行います。

講座番号 Z

なごや環境大学実行委員会 主催講座

「なごや環境大学」実行委員会が企画・運営する講座です。地球規模のテーマから、身近な地域の問題まで学ぶことができます。

講座番号 A

ゼミナール	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		16	Z-01	外来種を食べて減らす会	なごや外来種を考える会	○	○	○	○	
		17	Z-02	日本庭園と生物多様性	モノサシなごや (都市の自然のモノサシ研究会)			○	○	
		17	Z-03	堀川最上流の自然環境を調べる!	川ナビ歩こう会・ 株式会社地域環境計画名古屋支社	○		○	○	
		18	Z-04	東谷山の森の中での二ホンミツバチの繁殖条件の調査	東谷山二ホンミツバチプロジェクト 実行委員会			○	○	

SDGs X 健康	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		19	C-21	なごや近郊の森 de セルフケア	prana			○	○	○
		20	B-34	セントレアまるごとウォッチング2022:水際対策、環境、SDGs	環境カウンセラー岡本明子				○	○
		21	B-35	「沈黙の春」出版60年～レイチェル・カーソンの思いをつなぐ	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム			○	○	○
		21	B-36	ネイチャーランニング森のなか PLUS	りとららぼ	○	○	○	○	○

① 脱炭素 (エネルギー・気候変動)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		22	E-11	なごや SDGs グリーンパートナーズセミナー ～SDGsと環境～	名古屋環境局 脱炭素社会推進課					○
		23	B-37	ごきそテクノカフェ ～脱炭素の実現に向けて技術者と共に考えよう～	名古屋工業大学ごきそ技術士会	○		○	○	○

② 自然共生 (生物多様性・気象・自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		24	A-09	愛岐の里山たいけん隊 ～秋の里山にいこう!～	「なごや環境大学」実行委員会 / 名古屋市愛岐処分場 / 名古屋市環境学習センター		○	○		
		25	B-38	名古屋の大地をつくる地層を見に行こう	なごやの大地を学ぶ会		○	○	○	○
		25	B-39	こども講座「森であそぼ!」	NPO 法人海上の森の会	○	○			
		26	B-40	東谷山と志段味古墳群探訪	歴史の里マイスターの会	○	○			○
		26	B-41	「ゆるり時間」まちなかでゆっくり自然を楽しもう	ひこばえ社中					○
		27	B-42	削れ難く、保水力があり、歩き易いウッドチップ散策路を作ろう	水の環グループ		○	○	○	○
		27	B-43	のぞいてみよう! ブランクトンの世界	自然観察グループ	○				
		28	B-44	おばたの森遊び	なごや環境塾どんぐりころころグループ	○				
		28	B-45	もりもり自然探検、大発見	かすがい里山自然楽校	○	○	○	○	○
		29	B-46	北欧発! 森の自然環境教育を英語で学んじよう!	森のムッレあいち	○				
		29	B-47	森で見つけ! 自然と育むおやこの発見・創造プログラム	劇団 森のパレット	○				
		30	B-48	“わた”の収穫・種取り・糸紡ぎを体験! ～“わた”で楽しむXmas～	NPO 東海自然学園					○
		30	B-49	猿投の森を楽しみながら、森のめぐみ・森の大切さを体感しよう	公益社団法人日本山岳会東海支部・猿投の森づくりの会	○	○	○	○	○
		31	B-50	りす山の自然学校:あなたのお子さんへの新しい学びの冒険がここに。	守山リス研究会	○	○	○		○
		31	B-51	木曾川がもたらす生物多様性の恵みに感謝し、水源の森で学び、遊ぶ	NPO法人「みたけ・500万人の木曾川水トラス」	○		○	○	○
		32	B-52	むささびっ子の森くらぶ	NPO チームばんどり	○				
		33	B-53	美味しい! 楽しい! 美しい! 魅力いっぱい親子森遊び	地球ハグ倶楽部	○	○	○	○	○
		34	B-54	春日井築水の周りの自然と保全	かすがい東部丘陵自然観察会	○	○	○	○	○
		34	B-55	ももなも耕せプロジェクト「いのこしの畑で綿をつくろう!」	特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも	○	○	○	○	○
	35	B-56	みて きて かんじて! 自然とあそぼうの会 (2022 年下半年)	NPO みのむしックス	○					
	35	C-14	薪割りと焚火の自然体験をして心も体もリフレッシュ!	中部土木株式会社	○	○	○	○	○	
	36	C-15	東谷山フルーツパークのネイチャー×カルチャー×サバイバル!	東谷山フルーツパーク	○				○	
	37	C-16	バードウォッチングに挑戦!! ～蟹江町にやってくるカモを観察♪～	株式会社 加藤建設	○					
	37	C-17	春休み特別企画 長谷川明子先生と学ぶ生物多様性・ピオトーブ講座	東邦ガス株式会社			○			
	38	C-18	山県市北部でまったり 2022 ～秋・冬～	やまがたフットバス実行委員会	○	○	○	○	○	

市民・市民団体が企画・運営する講座

「なごや環境大学」の趣旨に賛同した様々な市民・市民団体が企画・運営します。子どもにもわかりやすい講座から、詳しく学びたい人向けの講座までいろいろあります。 **講座番号 B**

企業・事業者が企画・運営する講座

環境にやさしい取り組みをしている企業・事業者が、自社の環境保全活動を紹介したり、施設見学を実施したりします。 **講座番号 C**

大学等が企画・運営する講座

大学等が企画・運営する講座です。 **講座番号 D**

生涯学習センター等で実施する講座

各区生涯学習センターで、各館年間1講座を計画しています。区の特性に合った内容や、全市的な視点から環境を考える内容など、様々な視点から講座を開催します。 **講座番号 E**

② 自然共生 (生物多様性・気象自然体験)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		38	E-12	歩いて自然を体感! 公園・庭園の魅力	守山生涯学習センター				○	○
		39	E-13	「もり」の雄大さを味わおう ～天白の「もり」～	天白生涯学習センター				○	○
		40	E-14	めざせ!! 水の環境復活 ～学んでみよう、水のこと～	名古屋市長官庁地域環境対策課 水質地盤係	○	○	○	○	○
		40	E-15	「生物多様性」について考えませんか ～植物を学ぶ活動を通して～	名東生涯学習センター				○	○
		41	E-16	在来種の命のために!! ～外来種との関係を知る～	中川生涯学習センター					○
		41	E-17	実験! 体験! かんきょうラボ	名古屋市環境科学調査センター				○	○
		42	B-57	青空遊園 初秋の藤前干潟でカニを学ぶ!	川ナビ歩こう会	○	○	○	○	○
		42	B-58	劇団シンデレラと藤前干潟をきれいにしよう!	劇団シンデレラ	○	○	○	○	○
		43	B-59	干潟の学校 ～藤前干潟でいろんなことしましょ!～	NPO法人藤前干潟を守る会	○	○	○	○	○
		43	E-18	野鳥をウォッチング! ～干潟の生態系～	港生涯学習センター				○	○
	44	D-02	ラムサール条約登録 20 周年「藤前干潟と海を持続可能性」	東海学園大学 ともいき教養教育機構・経営学部			○	○	○	

③ 資源循環 (3R・資源・産業廃棄物)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		46	B-60	勿体ないを家庭から～編む/織る/染める ～手あみの基礎学へます(^-^)	手あみ生涯学習くろ一が				○	○
		47	B-61	「おかえりやさい」を知って学んで味わって楽しもう!	おかえりやさいプロジェクト	○	○	○	○	○
		47	C-19	「なごやリサイクル探検隊(環境特区昭和町を巡る旅)」	グリーンサイクル株式会社 / 中部リサイクル株式会社 / 株式会社アビツ	○	○	○	○	○
		48	E-19	走って、拾って、SDGs! ～「プロギング」に参加しませんか～	西生涯学習センター				○	○
	48	E-20	エンカル×女性 ～私たちができるエンカルなこと～	イーブルなごや(名古屋市女性会館)	○	○	○	○	○	

④ 健康安全 (食・くらし・防災・安全)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		49	B-62	小学生向け防災体験講座	なががわ災害ボランティアネットワーク	○	○			
		50	B-63	農的な暮らしづくり 一都市と農村(都市周辺地域)をつなぐー	なごや環境サポーターネットワーク		○	○	○	○
	50	B-64	社会と土木の「話の泉」	CE 技術の会				○	○	

⑤ まちづくり (コハクティン・交通・水)	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
		51	C-20	聞いて役立つ環境と不動産の話	公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会				○
	52	E-21	水の歴史資料館で学ぶ 安心・安全な名古屋の水道	名古屋市上下水道局 調査課 水の歴史資料館	○		○	○	○

⑥ 多文化共生 国際協力	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人
		53	B-65	世界の料理と防災を通じて環境を学ぼう!	ノートルモンド名古屋	○	○	○	○
	53	B-66	暮らしから見たフェアトレードと環境	特定非営利活動法人 地域国際活動研究センター(CDIC)				○	○

⑦ 人材育成・スキルアップ	掲載ページ	講座番号	講座名	企画・運営	親子	小学生	中学生	大学生	大人	
		55	A-07	なごやをささえる環境学	「なごや環境大学」実行委員会			○	○	○
		56	B-67	テクノロジーカフェ	公益社団法人日本技術士会 中部本部登録 倫理実践力開発普及会	○	○	○	○	○
		57	B-68	調べて体験! 協同して発表! 循環型農業と農福連携を学ぼう	めいとう学習支援会				○	○
		57	B-69	暮らしの中の SDGs、未来の地球を守ろう!	地球エコ防衛隊	○	○	○		○
		58	B-70	SDGs と健康 身近なところから実践しよう!	eye opener	○	○	○	○	○
		59	E-22	持続可能な社会のために ～SDGs と環境保全の取り組み～	瑞穂生涯学習センター				○	○

なごや環境大学のHP
エコパートナーズデータベースにて各企画・運営団体の活動内容がご覧いただけます。



持続可能な社会づくり～SDGs 達成を目指して～

主催講座・事業

🌱 渋沢栄一の夢とSDGs

2022年4月17日(日) 114名

【会場】 鯉城ホール

【講師】 渋沢 寿一氏 (NPO 法人共存の森ネットワーク理事長)

【共催】 マザーアース プラネット 【後援】 ビオトープ・ネットワーク中部

渋沢栄一の考えた資本主義と現在における経済発展の限界、そして、持続可能な社会をもたらす、人と自然の関係や社会の在り方、生き方について、講演と対談でお話いただきました。学生を含めた多くの方が参加し、よりよい未来を考える機会となりました。



🌱 なごやの水はどこから来るの？—木曾川水系をたどる— [全4回]

2022年5月7日(土)～2022年8月20日(土) 106名

【会場】 鯉城ホール、名古屋市上下水道局水の歴史資料館、岐阜県可児郡御嵩町水源の森・みたけ、長野県木曾郡木祖村味噌川ダム・水木沢天然林周辺

【講師】 篠田 成郎氏 (岐阜大学工学部教授)、大坪 成生氏 (水の歴史資料館長)、大沼 淳一氏 (NPO 法人みたけ・500万人の木曾川水トラス)、味噌川ダム管理所長、木祖村観光協会

私たちの暮らしに欠かせない水。公開講座と木曾川水系をたどる連続講座で、水源の山や森で起きていることや、なごやの水はどのような歴史があり、どのように届けられるか、また、限りある水資源を守るために私たちは何ができるのかについて考えました。



🌱 地球環境学 2022 [全5回]

2022年5月14日(土)～9月10日(土) 206名

【会場】 エコバルなごや

【講師】 杉山 範子氏 (名古屋大学大学院環境学研究科特任准教授)、香坂 玲氏 (東京大学大学院 農学生命科学研究科 森林科学専攻 教授)、長谷川 明子氏 (ビオトープ管理士会中部支部 会長)、谷口 真人氏 (総合地球環境学研究所 副所長)、千頭 聡氏 (日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授)

新装の「なごや環境ハンドブック」を使用して、各分野の専門家から地球規模の環境について学ぶとともに、SDGs と環境の関わりを知ることで、2030年に向けてどう考え、行動していくのが良いかを学ぶ講座を開催しました。



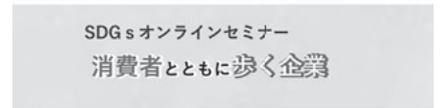
🌱 SDGs オンラインセミナー「消費者とともに歩く企業」[全5回]

2022年5月27日(金)～2022年9月30日(金) 216名

【会場】 オンライン

【講師】 岩田 俊夫氏 (ブラザー工業株式会社 CSR & コミュニケーション部 シニア・チーム・マネージャー)、青木 裕典氏 (有山本屋 専務取締役)、堀尾 速人氏 (仲建設株式会社代表取締役)、沼田 篤寛氏 (株式会社旅行 中部営業本部 営業部課長)、鈴木 訓幸氏 (日本財団 海と日本プロジェクト in 愛知県実行委員会)、森 貴宏氏 (株式会社 WCS 取締役・プロデューサー)

消費者にとって身近な企業が取り組むSDGsの事業を紹介したオンラインセミナー。地元の企業から講師をお招きし、SDGsにつながる具体的な取り組みを講演いただきました。企業のSDGsの取り組みを考える機会とするとともに、消費者としてじぶん事として捉える事ができる内容となりました。



🌱 愛岐の里山たいけん隊【春・秋】

2022年5月28日(土)・2022年11月12日(土) 25名

【会場】 愛岐処分場・諏訪町・エコバルなごや

【協力】 岐阜県多治見市諏訪町のみなさま

【共催】 愛岐処分場

春には、田植え体験、たけのご掘り、しいたけの菌打ち、秋には五平餅作りとサトイモ掘りを行いました。里山での体験や地元の旬の食べ物を通じ、参加した子どもたちは季節ならではの自然の恵みや里山の暮らしを体験しました。また、愛岐処分場を見学し、自分たちの生活とごみについて考えました。



なごや環境大学の第4期ビジョンの柱の一つである「持続可能な社会づくりに関わる知識・情報、地域の情報」の提供を目指し、市民／市民団体、企業、教育機関、行政など多様な主体と協働して、講座やイベントを実施しました。2022年度の主催講座や事業をピックアップしてご紹介します。

SDGs 人づくりプロジェクト

2020年度・2021年度に作成したSDGs学習プログラムを活用したプロジェクトを展開しました。

○なごやSDGs フィールドスタンプラリー

2022年8月1日(月)～2022年8月31日 2,345名(景品交換者)
【会場】名古屋市近隣施設23か所、図書館20か所

SDGsの取り組みについて学べる施設「SDGsフィールド」と連携し、夏休みにスタンプラリーを開催しました。



なごやSDGsフィールドスタンプラリー

○SDGs 達成のための授業づくり講座

2022年8月24日(水) 24名
【会場】エコパルなごや
【講師】大鹿 聖公氏(愛知教育大学 理科教育講座 教授・「なごや環境大学」実行委員)
【共催】名古屋市環境学習センター

小・中・特別支援学校の先生等を対象に、SDGsの学習ツールの紹介等、SDGsの学びにつながる授業づくりのための講座を開催しました。

○SDGs 学習ツールの貸出

SDGsを楽しく学べる「かるた」と「すごろく」の貸出を行いました。市内外の教育機関やNPO法人、企業等から依頼があり、授業やイベント、研修などで活用されています。

片平学区ローカルSDGsプロジェクト

名古屋市緑区の片平学区連絡協議会と協働して2022・2023年度の2ヶ年にわたり「片平学区ローカルSDGsプロジェクト」を実施しています。キックオフミーティングでスタートし、持ち寄り型マルシェやトークセッションなど、SDGsを啓発するイベントを開催したほか、アンケート調査を実施し、今後の片平学区の街づくりについて、参考となる意見が集まりました。2023度も引き続き片平ローカル版SDGsの宣言を目指して活動していきます。

【共催】片平学区連絡協議会
【プロジェクトリーダー/メンバー】千頭 聡氏(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員) / 杉野 友昭氏(片平学区連絡協議会 会長)、松本 イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員)

○キックオフミーティング

2022年8月9日(土) 21名
【会場】片平ふれあいセンター
【ゲストスピーカー】小林 照美氏(片平学区子育て支援ネットワーク連絡会 代表)



○みんなで話そう！ ～学校×地域SDGs トーク&セッション

2022年11月23日(水) 80名
【会場】片平ふれあいセンター
【ゲストスピーカー】佐藤 彰洋氏(名古屋市立千鳥丘中学校校長)

○KATAHIRA SDGs マルシェ&トーク

2023年2月11日(土) 199名
【会場】片平ふれあいセンター
【ゲストスピーカー】久世 守氏(南知多町観光協会 事務局長)



○なるみ祭り

2022年9月17日(土)・18日(日) 1140名
【会場】なるぽーく

環境白書からSDGs実践へ2022

2022年9月13日(火) 25名
【会場】オンライン
【講師】森 詠雪氏(環境省 大臣官房総合政策課 係長)、高橋 雅大氏(株式会社若鯨家 取締役副社長)、岡山 朋子氏(おかえりやさいプロジェクト リーダー)
【共催】環境省中部地方環境事務所、EPO 中部

第一部では最新の「環境白書」をもとに日本や世界の現状とトピックを講演していただき、第二部では2つの企業・団体からのグリーン社会実現に向けた取り組みの事例紹介を通して、私達が生活していく上で、地球環境のために選択する重要性を考えました。





SDGs 普及啓発教育プログラム 第1期「産官民提携講座Ⅱ」(SDGs 概論) [全15回]

2022年9月16日(金)～2023年1月13日(金) 315名

【会場】愛知学院大学 名城公園キャンパス

【共催】愛知学院大学、中部大学

SDGsの普及啓発に資する人材を育成するため、なごや環境大学と愛知学院大学、中部大学の連携により、SDGs普及啓発教育プログラムを2022年9月からの1年間のプログラムとしてスタートしました。第1期は愛知学院大学が、SDGsの理念や歴史、現状等の基本を学び、さまざまな切り口からSDGsと社会のかかわりや具体的な取り組みを知り、社会の未来を展望することを目的に、外部講師と愛知学院大学の教員がオムニバス形式で講義を行いました。



なごやをささえる環境学 [全5回]

2022年10月15日(土)～2023年1月28日(土) 153名

【会場】エコパルなごや

【講師】大東 憲二氏(大同大学情報学部教授)、山神 真紀子氏(名古屋市環境科学調査センター主任研究員)、須網 正人氏(「なごや環境大学」フェロー)、九里 徳泰氏(相模女子大学学芸学部教授)、千頭 聡氏(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授)、松本 イズミ氏(NPO フィトラボ代表)

新装の「なごや環境ハンドブック」を使用して、専門家からなごやの環境について学ぶ講座を開催しました。回によってはグループワークや講師との対話の形式で実施するなど、なごやの環境・これまでの取り組みと学び・未来のなごやを私たちがどうしていけばいいのかを考え、行動に移すことを促す講座になりました。



環境情報メディア部 [全4回]

2022年10月16日(日)～2023年3月4日(土) 23名

【会場】エコパルなごや、中川運河にぎわいゾーン

【講師】長谷川 明子氏(ビオトップ管理士会中部支部 会長・「なごや環境大学」実行委員)、杉野 実氏(M1 Project デザインプロデューサー・「なごや環境大学」実行委員)

動画や写真の編集技術を身に付けて、中川運河にぎわいゾーンを散策・クルージングしながら、中川運河の魅力を受講者の独自の目線で撮影し、PR動画やポスターを作成しました。作成した作品を活用し、自然とひとの暮らしの魅力が詰まった中川運河をPRしていきます。



錦2丁目SDGsWEEKs七番SDGsセミナー [全5回]

2022年10月27日(木)～11月6日(日) 65名

【会場】スペース七番、喫茶七番・広場

【講師】浦上 奈々氏(国連地域開発センター研究員)、森田 純圭氏(大日本コンサルタント(株)/錦2丁目エリアマネジメント(株))、西田 宏平氏(株式会社TOWING代表取締役)、白石 恭一氏(錦2丁目エリアマネジメント(株))、谷村 佳宏氏(豊島(株)営業企画室チーフ)、鈴木 健之氏(スターキャット・ケーブルネットワーク(株)DC推進本部クリエイティブ事業部長)、井原 綾子氏((株)猪鹿工房 山恵)、山田 政和氏(錦2丁目都市の木質化プロジェクトメンバー/豊田森林組合)、大橋 美紀子氏(司書・JPIC読書アドバイザー)、山本 茜氏(フリーライブラリアン/東海ナレッジネット)

【共催】錦2丁目エリアマネジメント株式会社

2020・2021年度の2か年にわたり、なごや環境大学と錦2丁目まちづくり団体・企業などが協働で「SDGsまちづくりプロジェクト in 錦2丁目」を展開してきました。2022年度は、地域主催で開催された「錦2丁目SDGs WEEKs」において、錦2丁目や地区の企業で行われているSDGsの取り組み紹介など、SDGsについて学び、体験する講座を開催しました。



SDGs 推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング 2022

2023年1月27日(金) 23自治体・36名

【会場】エコパルなごや

【コーディネーター】千頭 聡(日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授・「なごや環境大学」実行委員)

【司会進行】松本イズミ氏(NPO フィトラボ代表・「なごや環境大学」実行委員)

持続可能な社会を目指すため、各地域での施策・事業の運用を考える機会とすると同時に、時流に沿った事例発表や話題提供を通して、課題共有や意見交換を図り、自治体間のネットワークづくりを推進しました。今年度は、ゼロカーボンをどう推進していくかをテーマに活発な意見交換を行いました。



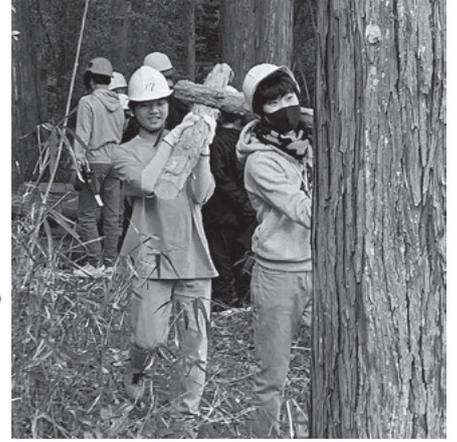


森林プロジェクト

森を育む人づくり講座 in みたけ [全11回]

2022年5月15日(日)～2023年3月12日(日) 76名
 【会場】岐阜県可児郡御高町水源の森・みたけ / 私有林
 【講師】NPO 法人みたけ・500万人の木曾川水トラスト

名古屋の水道水の水源でもある木曾川上流にある御高町ではかつて産廃処分場建設問題となり、その後も保全が続けられています。その水源の森で活動を続ける「みたけ・500万人の木曾川水トラスト」のみなさまから間伐材を使用した炭焼きやチェーンソーでの伐木など森林の保全や整備について学び、一緒に活動することで、森林を大切にしていける人づくり・人の輪づくりを実施しました。



森を育む人づくり講座 in みたけ

森イキ！スキルアップ講座 [全2回]

2022年11月23日(水)、2023年1月26日(木) 34名
 【会場】エコパルなごや、戸田川緑地ボランティアハウス
 【講師】柳沢 直氏(岐阜県立森林文化アカデミー)、前野 健氏(岐阜県立森林文化アカデミー)
 【共催】なごや森づくりパートナーシップ連絡会 / 戸田川みどりの夢くらぶ

第1回は、森の恵みを活用しながら、管理していく里山から森づくりの基本について講演いただきました。森林は日光が差し込むように適度に伐木することで、多様性豊かな森をたもつことができる仕組みを学びました。第2回では間伐材を使用した木工講座のポイントについて実習を交えて解説していただき、特に子どもとクラフトをするための道具や安全に作業する留意点など誰もがクラフトを楽しめる説明の仕方を学びました。



森イキ！スキルアップ講座

なごや水辺・湿地サポーター養成講座 —基礎編— [全4回]

2022年12月17日(土)～2023年3月19日(日) 92名
 【会場】エコパルなごや、天白溪湿地(東山公園南部「うるおいの森」)
 【講師】富田 啓介氏(愛知学院大学准教授)、村松 憲一氏(なごやの大地を学ぶ会代表)、長谷川 泰洋氏(名古屋産業大学准教授)
 【共催】NPO 法人なごや東山の森づくりの会、(公財)名古屋みどりの協会

森林に水辺・湿地があることで湿った環境を好む動植物が生息し、独特の環境を形作ります。しかし、土砂の流入や森林化により水辺・湿地環境の減少が危惧されていることから、湿地がある森林の保全の必要性や保全に向けた活動を考えるサポーター養成講座の基礎編を実施しました。東山の森をフィールドに湿地の地下はどうなっているのか、周辺の地形・地質はどうなっているのか、植生はどうなっているのか、実地を散策しながら学びました。



なごや水辺・湿地サポーター養成講座

その他

企画者説明会・交流会 [全4回]

2022年9月3日(土)・7日(水) 52名 / 2023年2月22日(水)・25日(土) 54名参加
 【会場】エコパルなごや

「なごや環境大学」共有講座の企画者を対象に、企画者説明会に併せ、交流会を開催しました。9月の交流会では、共有講座開催における広報や集客、運営等の悩みごとについて意見交換し、それぞれの企画者の講座運営の一助としました。また、2月の交流会では、「講座の参加者に環境を意識した行動を促す講座のアイデア」をテーマに、グループ討議を行いました。



2022年度 事業報告

【2022年度活動方針】

- 時流を捉え、未来志向の共創につながる機会を作り出すような事業を展開します。
- なごや環境大学のこれまでの多様なつながりを活かしつつ、2030年のSDGs達成に貢献できるように求心力を高めていく手法を実施します。
- SDGsを進める上で、大きな基盤となる環境分野における重要性を再度見直し、その重要性を発信し、「環境首都なごや」そして「持続可能な地球社会」を支える人づくり・人の輪づくりを進めます。
- SDGs やコロナ禍を踏まえ見直しを行った第4期ビジョンの達成度を検証し、今後の方向性に反映します。
- コロナ禍が引き起こした大きな社会変容の時代を牽引する多様な主体のプラットフォームとして、行動に結びつくなごや環境大学を目指します。

1 SDGs や時事に即したテーマでの講座の企画・運営

○主催講座

- ・環境ビギナーを対象として、水の恵みをテーマに、水をめぐる幅広い課題に目を向け、見学や体験を取り入れながら水の保全を考える連続講座として、『なごやの水はどこから来るの？一木曾川水系をたどる』を実施した。また、森・里山と人とのかかわりから、持続可能な循環型社会を目指す、渋沢栄一とSDGsをテーマとした『渋沢栄一の夢とSDGs』を実施した。
- ・SDGsをテーマとして『SDGs オンラインセミナー 消費者とともに歩く企業』を実施。企業として取り組めるSDGsの事例や、活用によって広がる可能性について取り上げた。
- ・中日新聞社、藤前干潟クリーン大作戦実行委員会と連携し、NPO法人藤前干潟を守る会の協力のもと、『トヨタソーシ

ャルフェス2022』を開催し、藤前干潟での清掃活動及び藤前干潟の歴史とごみ問題についての講義を行った。

- ・ユースや環境ビギナー層が環境活動・環境配慮の行動を行う機会を創出するため、動画を情報発信手段とした『なごや環境大学 環境情報メディア部』を実施した。学生が中心となり、街中の自然の魅力を撮影し、環境の視点や、撮影・編集方法を学び、動画等を作成した。

○共有講座

- ・講座企画・運営者92団体が115講座を実施し、6,467人の受講者が参加した。
- ・前期は「SDGs×水」、後期は「SDGs×健康」をテーマ講座として設定した。

2 SDGs 達成に向けた、他自治体や企業、市民団体等との連携の強化

- ・環境省中部地方環境事務所、EPO 中部と共催で『環境白書からSDGs実践へ2022』をオンラインにて実施。環境省による環境白書の解説のほか、企業、市民団体の事例発表により、持続可能な社会実現のためのライフスタイル変革

の取組を紹介した。

- ・『自治体ミーティング』を開催し、脱炭素をテーマとした情報交換を実施し、自治体間のネットワークづくりを推し進めた。

3 SDGs 達成につながる人づくりのための講座等の企画・実施

- ・SDGsなど最新の環境情報を取り入れた情報発信の役割を担う新しいハンドブックを用いた講座を企画。上半期は地球規模の環境について学び、考えるための『地球環境学2022』、下半期は、市民レベルで行動に移すための『なごやをささえる環境学』を実施した。
- ・愛知学院大学・中部大学と連携し、SDGsを学び、主体的な活動をしていきたい人を対象に、SDGsの達成に貢献するために必要な知識、企業やフィールドでの実践例、SDGsを社会に伝えるための手法を学ぶ、『SDGs普及啓発教育プログラム』を実施した。(2023年夏期までのプログラム)
- ・片平学区連絡協議会と協働により、『片平学区ローカルSDGsプロジェクト』を実施。暮らしに密着したモデルづくりとして、学区版のローカルSDGsの構築を目指すため、

協働の基本となる対話型ミーティングやワークショップを定期的に開催するとともに、住民に広くアンケートを実施し、どのようなまちを望むのか、地域の魅力や資源を掘り起こす基礎調査を行った。また、ヒト・モノ・コトなどを持ち寄るSDGsマルシェを開催し、学区の人をはじめ、幅広い層にPRした。(2023年度末までの2か年事業)

- ・2020、2021年度までのSDGs未来創造クラブまちづくりプロジェクト事業でモデル地区であった錦二丁目において、錦二丁目エリアマネジメント株式会社と連携し、「錦2丁目SDGs WEEKs」の実施に併せ、SDGsについて学び・体験する『七番SDGsセミナー』を開催した。
- ・次世代育成のため『SDGs人づくりプロジェクト』として、SDGs学習ツールの貸出や夏休み期間中のSDGsスタンプラリーの実施、My SDGsレポート(「夏の生活」「冬の生活」

にSDGsのページを掲載)、教員向けセミナーなどを実施した。

- ・愛知淑徳大学と連携し、ビジネス学部の「ビジネスプランニング入門」にて、SDGsを行動につなげる若者対象の共

育講座を企画する実習を行った。また、愛知学院大学と連携し、法学部の「環境と法」にて、環境問題を知り、持続可能な社会のあり方と法の役割を考える授業を行った。

4 安心・安全な共育講座・共育ゼミナールの運営

- ・新型コロナウイルス感染予防対策を推進し、開催時における安全性の確保と運営面のサポートの充実を図るとともに、

オンライン、ウェブサイト等の活用を含め、オンライン開催・リアル開催両面でのバックアップを行った。

5 共育講座企画者との意見交換会の実施

- ・2022後期共育講座の企画者説明会に引き続き、交流を深め、各企画者が講座開催についての改善のヒントを得るため、交流会を実施した。コロナ禍以降初めての対面形式で、

講座実施にかかる悩みや課題をワークショップ形式で出し合い、意見交換を行うことで、団体間の交流を促進した。

6 共育講座企画者のスキルアップの実施

- ・2023年度前期共育講座の企画者説明会で交流会を実施し、講座参加者の行動変容につなげるための方策をテーマに、

運営や広報、企画などについて企画者間で情報交換を行い、企画者の講座実施にかかるノウハウの共有を行った。

7 講座企画者への広報支援の充実

- ・2022年3月にリニューアルしたウェブサイトについて、コンテンツの充実やより使いやすくなるように適宜修正を行った。
- ・共育講座の内容を分かりやすく伝えるため、共育講座紹介動画のQRコードを集約した特集ページを「なごや環境大

学ガイドブック2022後期及び2023年度前期」に掲載するとともに、なごや環境大学と関わりのある団体のデータベースサイトである「エコパートナーズデータベース」の、講座企画者の紹介ページ動画視聴機能を追加し、共育講座紹介動画を掲載した。

8 新規層を得るための認知活動

- ・フレッシュ卒応募に向けて講座企画者に対してリーフレットの配布依頼、及びホームページでの掲載を実施した。
- ・若年層に対して積極的にPRするため、「なごや環境ハンドブック」を一部の大学の講義において教科書として利用し

た。
・後期ガイドブック発行に際し、2022年度後期「SDGs×健康」のテーマにあわせた、若者を対象とした「表紙デザインコンペティション」を実施した。

9 森林管理の課題解決に向けた仕組みの検討

- ・市内の森で活動している団体や、なごや森づくりパートナーシップ連絡会との協働により、森林保全に関心を持つ市民層を広げることを目的として、里山や森を保全するため

の基礎知識・管理技術などを身に付ける『森イキ！スキルアップ講座』を岐阜県森林文化アカデミーと連携し実施した。

10 なごや環境大学のネットワークを活かした森林にかかる人づくり・人の輪づくりの構築

- ・共育講座企画団体が管理する岐阜県御嵩町の森林をフィールドにして、年間を通して森林で活動する体験講座『森を育む人づくり講座 in みたけ』を実施した。
- ・なごや東山の森づくりの会、(公財)名古屋みどりの協会と協働し、東山の水辺・湿地を対象として、保全のための

調査を実施するとともに、『なごや水辺・湿地サポーター養成講座』を実施した。
・2019年度に設楽町にて共催した団体が実施する森林講座のPRに協力した。

11 森林保全活動の広がりの醸成

- ・森林での活動の様子を森林保全活動報告書やウェブサイトにて情報発信し、新たな参画を生む環境づくりを継続的に実施した。

【事業全体における課題】

- ・新型コロナウイルスにより減少した講座数や受講者数の回復
- ・新規講座企画者の獲得
- ・若い世代を中心とした新規受講者数の獲得



なごや環境大学の歩み

前史・第1期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：「脱レジ袋宣言」を発表 11月：第1回エコ事業所の認定 藤前干潟がラムサール条約に登録	2002年度	1月 名古屋市長年頭記者会見で構想発表 3月 基本構想検討委員会を発足
10月：レジ袋削減に向けた市内共通還元制度「エコクーびよん」を開始(～平成21年3月)	2003年度	10月 基本構想を策定・公表 3月 市民講座企画づくりワークショップを開催
 <p>プレゼンポジウム</p> 8月：リユースカップ事業を開始 広小路夏まつり会場で打ち水を実施 2月：京都議定書の発効 3月：「なごやエコキッズ」213園・「なごやスクールISO」153校を認定 「愛・地球博」開幕	2004年度	4月 実行委員会を発足 8月 2005年度共育講座公募 11月 プレシンポジウム「市民と行政の協働を考える」を開催 12月 プレ講座「環境首都をめざしたまちづくり」を開講 2月 共育講座企画運営団体(市民団体・企業)との交流を開催 「環境ハンドブック2005」を発行 3月 開講式&記念シンポジウムを開催
6月：環境デーなごや2005「もういちど!大作戦」を実施 7月：愛・地球博ささしまサテライト会場ほか市内51箇所打ち水を実施(～9月) 11月：EXPO エコマネーセンターがアスナル金山に開設	2005年度	4月 共育講座開始(2005年度88講座・476回) 7月 シンポジウム2005「環境時代と大学・地域・市民」を開催 10月 まちづくりシンポジウム「次世代につなぐ環境首都をめざして」を開催 3月 なごや環境大学平成17年度活動報告会を開催
8月：なごや循環型社会・しみん提案会議発足 1月：中区栄において都心と郊外のCO ₂ 濃度の比較表示を開始 2月：エコマネーサテライト開設(名古屋市環境学習センター/名古屋市リサイクル推進センター) 3月：「国際市長会議一都市と生物多様性」(ブラジル・クリチバ)出席	2006年度	4月 共育講座開始(2006年度110講座・574回) 9月 環境デーなごや「なごや環境大学のひろば」開催開始 10月 「上流・下流のつながり」を開催 2月 「地球温暖化の真実」を開催
6月：生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)誘致委員会設立 9月：なごや循環型社会・しみん提案会議「しみん提案」発表 10月：緑区にて「レジ袋有料化促進モデル事業」開始 11月：IPCC第4次評価報告書統合報告書の公表 3月：名古屋市バイオマスタウン構想を策定	2007年度	4月 なごや環境大学学生チーム「エコネクスなごや」発足 共育講座開始(2007年度133講座・616回) 10月 東山新池かいぼりプロジェクト(なごや環境学・番外編)「1021新池かいぼり大作戦」を開催(21日) 11月 なごや環境大学「第2期ビジョン」を策定 2月 環境ハンドブック改訂版「なごや環境ハンドブック」発行 3月 2008愛知環境賞「中日新聞社賞」受賞 「あいちモリコロ基金」(2008年度大規模活動)助成決定



なごや環境大学の歩み

第2期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：第4次一般廃棄物処理基本計画を策定 7月：第1回「脱温暖化2050なごや戦略」策定検討会開催 9月：「第16回アジア太平洋環境会議」を開催 12月：化学繊維・人工皮革・ゴムを不燃ごみから可燃ごみへ区分変更「エコドライブマイスター認定制度」を開始 2月：「『ごみ非常事態宣言』10周年シンポジウム～ごみ減量のこれまで、これから～」開催 3月：「水の環復活2050なごや戦略」策定	2008年度	4月 共育講座開始（2008年度 138講座・567回） 5月 「しみん提案」の実現を目指す「循環型社会推進チーム」発足 9月 エコアジア2008（プレCOP10）開催記念環境シンポジウム開催 12月 エコネクスなごやが全国大学生環境活動コンテスト（エココン2008）「グランプリ・環境大臣賞」受賞 3月 「あいちモリコロ基金」（平成21年度大規模活動）助成決定
4月：レジ袋有料化全市拡大 11月：「生物多様性自治体会議2009」開催 「低炭素都市2050なごや戦略」策定 3月：「名古屋市版レッドリスト2010」公表 「生物多様性なごや戦略」策定	2009年度	4月 共育講座開始（2009年度 152講座・674回） 6月 「地方の元気再生事業」採択 8月 「藤原紀香『Smile Please!』」トークショー&写真展開催 9月 環境デーなごや「生物多様性パーク」開催 1月 「エコシティ・サミット～市民はいかに動いたか～」開催
5月：URBIO2010（都市における生物多様性とデザイン国際会議）開催 10月：「カルタヘナ議定書第5回締約国会議（COP-MOP5）」開催 「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」開催 「生物多様性国際自治体会議」開催	2010年度	共育講座開始（2010年度 173講座・727回） 4月 中日新聞社共催「ビバちぎゅうきょうしつ」第1回「生命を育む海」開催 5月 生物多様性連携プロジェクト発足 9月 「生物多様性屋台村 いのちの恵みを『いただきま～す』」出展 10月 「生物多様性交流フェア」出展 2月 「生物多様性あふれるまち・なごやに100人ワークショップ～COP10から始めよう～」開催 3月 「南極料理人西村淳さんによる“究極のエコライフ”」開催
 <p>交流フェアブース</p> 4月：プラスチック製品を不燃ごみから可燃ごみへ区分変更 9月：市役所などに電気自動車を導入「なごや生物多様性センター」を設立「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合が2014年に愛知県名古屋市で開催されることが決定	2011年度	4月 共育講座開始（2011年度 161講座・663回） 5月 地球環境学第1回公開講座「映画『THE AGE OF STUPID』上映会+トークライブ」開催 9月 環境デーなごや「つくる・育てる・楽しむプロジェクト」として衣食住をテーマとした3ブースを出展 10月 名古屋市教育委員会共催「環境未来探検隊」体験活動開催「COP10 1周年記念シンポジウム～都市インフラとしての自然を考える～」開催 11月 東日本大震災を受け、防災関連講座「なごや環境学2011～リスク管理とまちづくり～」を開催 12月 なごや環境大学「第3期ビジョン」を策定「Winter Concert 2011～宇宙からみた地球環境、森林の大切さを感じる音楽会～」開催 3月 「新しい公共支援事業基金」（2012年度活動）助成決定
 <p>なごや環境学 2011</p>		



なごや環境大学の歩み

第3期・第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：ESD ユネスコ世界会議あいち・なごや支援実行委員会設立 7月：「名古屋市集団回収における古紙の持ち去り防止に関する条例」施行 10月：バイオディーゼルの燃料化モデル事業を全市で実施	2012年度	4月 特定の環境テーマで、調査・研究・社会実験等を行う「共育ゼミナール」を開始（4団体） 共育講座・ゼミナール開始（2012年度 158 講座・601 回） 9月 環境デーなごや 2012 中央行事で名古屋市と協力し、「持続発展共育（ESD）に関するユネスコ世界会議」に向けた特別企画を開催
4月：リサイクル推進センター閉館に伴い、環境学習センターにおいて一部機能継承 1月：ESD イヤーキックオフイベント開催 2月：小型家電リサイクル開始	2013年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2013年度 143 講座・568 回） 5月 子どもたちが主役のESDワークショップ「命が大切にされる未来を創るんだ」開催（5～11月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2013 中央行事」に参画 12月 「Winter Concert2013 ～愛と音楽は未来への懸け橋を創る～」開催
6月：「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」開催 11月：「ESD シンポジウム」開催 「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」開催 2月：「低炭素モデル地区事業」2地区を認定	2014年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2014年度 159 講座・591 回） 5月 いのちつながるESDワークショップ2014開催（5～9月・全5回） 6月 「ESD ユネスコ世界会議半年前イベント」に参画 9月 「環境デーなごや 2014 中央行事」に参画 11月 「ESD ユネスコ世界会議併催イベント」に参画 3月 10周年事業 オープンキャンパス！開催 「リソースマッチングプレゼン大会」開催
5月：第二処分場の開設 12月：国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）において「パリ協定」を採択 3月：「なごや環境学習プラン」策定 第5次一般廃棄物処理基本計画策定	2015年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2015年度 154 講座・574 回） 8月 名古屋気温測定調査 2015 実施（市内 165 地点） 9月 「環境デーなごや 2015 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10周年記念コンサート with ブランタン管弦楽団「未来を創るチカラ～つながるエコひろがるハッピー～」開催 10周年記念シンポジウム「未来を創るチカラ～人とまち～」開催 「協働型環境学習のしくみづくりに関する自治体ミーティング」開催
 <p>10周年記念シンポジウム</p>	2016年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2016年度 147 講座・564 回） 6月 「みんなで歩く ワクワクなごや」開催（6～12月・全5回） 9月 「環境デーなごや 2016 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 持続可能な明日をめざすシンポジウム「いのちつながる街づくり担い手づくり」開催 12月 「エコプロ 2016 ～環境とエネルギーの未来展～」に参画 3月 「春のオープンカフェ at テレビ塔」開催
10月：スプレー缶類の排出方法を穴あけ不要に変更 災害廃棄物処理計画策定 11月：平成28年度水銀添加廃製品回収促進業務（環境省モデル事業）を実施	2017年度	4月 共育講座・ゼミナール開始（2017年度 143 講座・455 回） 5月 第4期ビジョン策定 9月 「環境デーなごや 2017 中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 名古屋外国語大学との連携に関する協定書締結 11月 「ウィンターコンサート 2017 ～音楽でつながろう！みんな地球市民～」開催 1月 「みんなで防災・減災を考え行動しよう！！～持続可能な社会づくりのために～」開催 2月 3月 「オープンキャンパス at 名城公園 tonarino」開催
 <p>エコプロ 2016</p>	2017年度	
10月：蛍光管・水銀体温計等の拠点回収を開始 3月：「低炭素都市なごや戦略第2次実行計画」策定	2017年度	
 <p>オープンキャンパス</p>	2017年度	



なごや環境大学の歩み

第4期

名古屋の環境動向		なごや環境大学の歩み
5月：名古屋市環境学習センター「エコバルなごや」リニューアルオープン 2月：ごみ非常事態宣言から20年を記念した式典を開催  なごやのみらい Open Together！	2018年度	4月 共有講座・セミナー開始（2018年度 173講座・483回） 5月 愛知学院大学との連携協定締結 9月 「環境デーなごや2018中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 10月 「なごやのジレンマ！名古屋市北エリアを例に考える持続可能なまち・人・仕事？いや生活！」開催 11月 ユース主催講座「自然栽培を知ろう！～おいしいやさいはどんな味？～」開催 1月 豊かさを考えるSDGs映画会&トーク開催 2月 ごみ非常事態宣言20周年記念イベント「なごやのみらい Open Together！」開催
7月：名古屋市が「SDGs未来都市」に選定 1月：「未来へつなぐ「国連生物多様性の10年」せいかりレー キックオフイベント」～あいち・なごや生物多様性EXPO～開催 3月：南陽工場を休止	2019年度	4月 共有講座・セミナー開始（2019年度 147講座・525回） 7月 「お買い物からSDGsを知る！「環境白書から実践へ」」開催 8月 森イキ！デザインプロジェクト開始 9月 「環境デーなごや2019中央行事」に参画し、学生企画「WATSUKA MONO Village」を展開 11月 「なごやの環境平成史」開催（11月～2月・全4回） 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング
6月：富田工場、北名古屋市で工場完成 9月：ウェブサイト上で、「おうちで環境デーなごや2020」実施  池上先生と学ぶSDGsの現在	2020年度	4月 共有講座・セミナー開始（2020年度 98講座・497回） 6月 SDGs未来創造クラブ まちづくり・人づくりプロジェクト開始 オンラインセミナー 生物多様性とサブカルチャーの世界 7月 環境白書から実践へ2020～SDGs17の目標その先へ！～SDGsオンラインセミナー2030年の先をみつめる人々（10～2月・全10回） 森イキ！デザインプロジェクト2019年度成果発表会 in 設楽町 1月 SDGsに向けての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2020 11月 「みちにわSDGsマルシェ」開催 12月 ウェブサイト「なごやSDGs街（マーチ）」オープン 3月 池上先生と学ぶSDGsの現在 in なごや
9月：第4次名古屋環境基本計画を策定 1月：「なごや生物多様性センター 設立10周年記念シンポジウム」開催	2021年度	4月 共有講座・セミナー開始（2021年度 122講座・446回） 企業向けSDGsオンラインセミナー「SDGs実践企業から学ぶ」始動（5～2月・全9回） 5月 森イキ！プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動（5～3月・全9回） 7月 環境白書からSDGs実践へ2021オンラインセミナー 地域が輝くローカルSDGs～参画への処方～ 10月 YouTu部（仮）始動（10～3月・全7回） 11月 「みちにわSDGsマルシェ」開催 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくり自治体ミーティング2021」実施 2月 「なごや環境大学SDGs未来創造クラブシンポジウム 持続可能なまちの実現に向けて」実施 3月 なごや環境大学ウェブサイトリニューアルオープン 「What'sNKD？なごや環境大学表紙デザイン展」開催
11月：「藤前干潟ラムサール条約登録20周年記念 藤前干潟ふれあいデー2022」開催 12月：「生物多様性国際自治体会議」（カナダ・モントリオール市）出席 3月：名古屋市プラスチック削減指針策定	2022年度	4月 共有講座・セミナー開始（2022年度 139講座・465回） 渋沢栄一の夢とSDGs 開催 SDGsオンラインセミナー「消費者とともに歩く企業」始動（5～9月・全5回） 5月 森イキ！プロジェクト「森を育む人づくり講座 in みたけ」始動（5～3月・全11回） 地球環境学2022 始動（5～9月・全5回） 8月 片平ローカルSDGsプロジェクト 始動（8月～） 9月 SDGs普及啓発教育プログラム 始動（9月～1月・全15回） 10月 なごやをささえる環境学 始動（10～1月・全5回） 12月 なごや水辺・湿地サポーター養成講座 一基礎編 始動（12月～3月・全4回） 1月 「SDGs推進にむけての協働型のしくみづくりに関する自治体ミーティング2022」実施

なごや環境大学協力者一覧

市民・市民団体

eye opener
 愛知からフェアトレードの輪をつなげる会
 愛知県昆虫食を考える会
 あいち森林インストラクター会
 特定非営利活動法人えこども
 おかえりやさいプロジェクト
 NPO 法人海上の森の会
 かすがい里山自然楽校
 かすがい東部丘陵自然観察会
 片平学区連絡協議会
 川ナビ歩こう会
 環境カウンセラー岡本明子
 環境ボランティアサークル亀の子隊
 特定非営利活動法人 芸術の広場ももなも
 劇団シンデレラ
 劇団 森のパレット
 CE 技術の会
 自然観察グループ
 戸田川みどりの夢くらぶ
 特定非営利活動法人
 地域国際活動研究センター (CDIC)
 NPO チームばんどり
 地球エコ防衛隊
 地球ハグ倶楽部
 手あみ生涯学習ぐるーぷ
 天白・もりのフォーラム
 (天白区役所地域力推進室)
 NPO 東海自然学園
 東谷山ニホンミツバチプロジェクト
 実行委員会
 なかがわ災害ボランティアネットワーク
 なごや外来種を考える会
 なごや環境サポーターネットワーク
 名古屋自然観察会
 なごや環境塾どんぐりこころこころグループ
 名古屋工業大学ごきそ技術士会
 名古屋自然観察会
 なごやネイチャーゲームの会
 なごやの生き物調査の会
 なごやの大地を学ぶ会
 NPO 法人なごや東山の森づくりの会
 なごや森づくりパートナーシップ連絡会
 NPO 法人日進野菜塾
 公益社団法人日本技術士会中部本部・
 中部倫理委員会
 公益社団法人日本技術士会中部本部登録
 倫理実践力開発普及会

公益社団法人日本山岳会東海支部・
 猿投の森づくりの会
 ノートルモンド名古屋
 ビオトープ・ネットワーク中部
 ひこばえ社中
 藤前干潟クリーン大作戦実行委員会
 NPO 法人藤前干潟を守る会
 マザーアース プラネット
 水の環グループ
 NPO 法人
 「みたけ・500万人の木曽川水トラスト」
 NPO みのむしックス
 未来につながる・東海ネット
 市民放射能測定センター (C ラボ)
 めいとう学習支援会
 モノサシなごや
 (都市の自然のモノサシ研究会)
 森のムッレあいち
 守山リス研究会
 山崎川グリーンマップ
 りとるらぼ
 レイチェル・カーソン日本協会
 東海フォーラム
 歴史の里マイスターの会

企業・事業者

一般社団法人愛知県建設業協会
 愛知県古紙協同組合
 愛知県再生資源団体連合会
 公益社団法人愛知県不動産鑑定士協会
 アクティブ株式会社名古屋営業所
 株式会社アビツ
 株式会社エステム
 株式会社加藤建設
 株式会社熊谷組
 グリーンサイクル株式会社
 清水建設株式会社名古屋支店
 株式会社地域環境計画名古屋支社
 株式会社中日新聞社
 中部電力株式会社
 中部土木株式会社
 中部リサイクル株式会社
 東谷山フルーツパーク
 東邦ガス株式会社
 戸田川緑地管理センター
 中日本高速道路株式会社名古屋支社
 一般社団法人名古屋建設業協会
 公益財団法人名古屋みどりの協会

錦二丁目エリアマネジメント株式会社
 N2/LAB
 パナソニック エコシステムズ株式会社
 prana
 やまがたフットパス実行委員会
 株式会社山田組

大学・行政・その他

愛知学院大学名城公園キャンパス
 愛知教育大学
 愛知淑徳大学
 東海学園大学ともいき教養教育機構・
 経営学部
 中部大学
 名古屋国際中学校・高等学校
 環境省中部地方環境事務所
 EPO 中部
 多治見市諏訪町
 イーブルなごや (名古屋市女性会館)
 千種生涯学習センター
 東生涯学習センター
 北生涯学習センター
 西生涯学習センター
 中村生涯学習センター
 中生涯学習センター
 昭和生涯学習センター
 瑞穂生涯学習センター
 熱田生涯学習センター
 中川生涯学習センター
 港生涯学習センター
 南生涯学習センター
 守山生涯学習センター
 緑生涯学習センター
 名東生涯学習センター
 天白生涯学習センター
 名古屋市環境科学調査センター
 名古屋市環境学習センター
 (エコバルなごや)
 名古屋市環境局 脱炭素社会推進課
 名古屋市環境局地域環境対策課
 水質地盤係
 名古屋市愛岐処分場
 名古屋市上下水道局 調査課
 水の歴史資料館

「なごや環境大学」実行委員会

(敬称略・2023年2月1日現在)

名誉委員長	河村たかし	名古屋市長
委員長	杉野みどり	名古屋市副市長
学長	水野 明久	一般社団法人 中部経済連合会 会長

実行委員	浅井 秀子	名古屋市保健環境委員会 会長
	伊藤 和子	名古屋市地域女性団体連絡協議会 会長
	杉浦 尚久	名古屋市市政協力委員議長協議会 議長
	岸田 眞代	岸田パートナーシップ研究所 代表
	小坂 信之	環境パートナーシップ・CLUB 総合事務局長
	杉野 実	M1_Project デザインプロデューサー
	坪井 明治	名古屋市商店街振興組合連合会 理事長
	長谷川明子	ビオトープ・ネットワーク中部 会長
	松本イズミ	NPOフィットラボ 代表
	鶴飼 宏成	名古屋市立大学大学院 経済学研究科 教授
	大鹿 聖公	愛知教育大学教育学部 教授
	九里 徳泰	相模女子大学学芸学部 英語文化コミュニケーション学科 教授
	鈴木慎太郎	愛知学院大学法学部 教授
	千頭 聡	日本福祉大学国際福祉開発学部 特任教授
	前田 洋枝	南山大学総合政策学部 教授
	横山 陽二	東海学園大学ともいき教養教育機構 経営学部 客員教授
	武田 淳	名古屋市総務局 企画調整監
	太田 宜邦	名古屋市教育委員会 教育次長
	吹上 康代	名古屋市環境局 環境都市推進監
	市橋 和宜	「なごや環境大学」実行委員会 事務局長/名古屋市環境局 環境企画部長

監事	加藤 明司	公認会計士
	名和 浩一	名古屋市会計室 次長

参与	佐藤 航太	名古屋商工会議所 産業振興部長
	岸 英順	一般社団法人 中部経済連合会 エネルギー・環境部担当部長
	香坂 玲	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
	浅野 昌江	農林水産省東海農政局 生産部 生産技術環境課長
	吉岡 和彦	経済産業省中部経済産業局 資源エネルギー環境部 環境・リサイクル課長
	今井 清隆	国土交通省中部地方整備局 企画部 環境調整官
	小笠原洋和	国土交通省中部運輸局 交通政策部 次長
	曾山 信雄	環境省中部地方環境事務所 環境対策課長
	加藤 尚巳	愛知県環境局環境政策部 環境活動推進課長

フェロー	井垣 理史	名古屋学芸大学 メディア造形学部デザイン学科 准教授
	上田 聡司	プラスディーアンドシー合同会社 代表職務執行者社長
	江坂恵里子	ユネスコ・デザイン都市なごや推進事業実行委員会 プログラム・ディレクター
	加藤 美奈	株式会社Comodo LABO 代表取締役
	岸 晃大	環境省 中部地方環境事務所 名古屋自然保護官事務所
	楠美 順理	中京大学教養教育研究院 教授
	小林 幸江	ブラザー工業株式会社 CSR&コミュニケーション部 スーパーバイザー
	新海 洋子	一般社団法人 SDGsbコミュニティ 代表理事
	須網 正人	名古屋市歯科医師会事務局
	曾我 幸代	名古屋市立大学大学院 人間文化研究科 准教授
	竹内 恒夫	名古屋大学大学院環境学研究科 持続的共発展教育研究センター 特任教授
	辻 喜礦	液状化対策統括工法協会 会長
	中森 浩二	TIPTOP 代表
	野中 賢輔	なごや外来種を考える会 会長
	山口ゆずみ	特定非営利活動法人コンソーシアム有松 事務局長
	山田 厚志	一般社団法人愛知県建設業協会 理事



発行/「なごや環境大学」実行委員会

発行年月/2023年5月

問い合わせ先/「なごや環境大学」実行委員会 事務局
〒460-0008
名古屋市中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階
(名古屋環境学習センター エコパルなごや内)
TEL・FAX 052-223-1223
Eメール/jimu@n-kd.jp
ウェブサイト <https://www.n-kd.jp>